

酪農アンテナショップ(ミルクファーム HARU)

10/29 ~ 30 広島城址公園

県産牛乳と乳製品の消費拡大をPR TPP交渉断固反対運動

ひろしまフードフェスティバル

2011出店



(笑顔の接客でPRする職員)

ミルクファーム HARU は、広島県内各地から「うまいもの」が集まる「ひろしまフードフェスティバル」に出店した。開催両日はあいにくの雨天であったが、六十五万人の集客があり、広酪メンバーズクラブからの参加を受け、共に牛乳・乳製品の販売PRに加え、佳境を迎えた TPP 交渉参加反対の PR 活動を行った。

届け！「酪農家の生の声」



三十日は手作りバター教室「シェイク！シェイク！手作りバターはどんな味」をテーマにステージイベントを行いました。

い、住田祐樹委員(写真左)と井上正芳委員(写真右)はステージ上から「酪農家の生の声」として来場者に直接、牛乳の消費拡大を訴えた。

来場者をステージに迎えての手作りバターも大盛況で、来る十一月二十六日(土)開催予定のイオンモール広島祇園での「MILK JAPAN in ひろしま」へのイベント告知も行った。

TPP参加交渉断固反対運動

開催両日スタッフ全員で TPP 反対オリジナルトレーナーを着用し、一般消費者に向け TPP 反対を PR。



TPP 反対を訴える
藤川職員(左)
山延委員(中)
宮地委員長(右)



RCCラジオ生出演

「地産地消アイス」をPR

二十九日には、広酪メンバーズクラブの宮地健司委員長と山延伊久江委員がブース前で TPP 反対のビラを入れた「TPP 参加猛(MOW) 反対」を印刷した紙袋で交渉反対に向けた理解を訴えた。来場者からは TPP に関心を寄せる人が多く、「TPP は絶対に反対です」、「一緒に頑張りましょう」と激励の言葉をかけて頂いた。

二十九日、RCCラジオ放送の中継が入り、藏崎店長(ミルクファーム HARU)は「新鮮な県産牛乳で作った HARU の手作りアイスクリームをぜひ食べに来て」と PR した。



甲奴郡酪農組合

10/8 三次市甲奴町、宮地健司牧場・ウィングドーム



「生協ひろしま」との消費者交流 総勢百三十名が楽しく交流

甲奴郡酪農組合(伊達薫組合長)は、生協ひろしまの組合員が集うなか第十二回甲奴牛乳交流会を盛大に開催した。

昨年は口蹄疫の影響でやむなく中止し、一年越しの開催となり、迎える酪農家や関係者らも胸弾ませ、貸切バス二台がウィングドーム(三次市甲奴町)に到着するのを待ちわびた。

早速、バーベキューで、地元でとれた新米や野菜の美味しさを堪能しながら、意見交換を行い、「牛乳が大好きでいつも飲んでいますが」など励みになる言葉があるなかで交流を深め、手作りバター体験も行った。

また、生協組合員から酪農家の堆肥を利用した農産物の直売への要望がありこれに応えた。女性部による米や野菜の直売は大好評で、あつという間に完売した。

その後、宮地健司組合員の牧場に会場を移し「酪農体験」を行った。酪農家は日頃から家畜の飼養衛生管理に十分配慮し、牛舎周辺の消石灰配布や牧場入口でのビニールブーツ着用などの防疫対策の説明をもって、消費者理解を深めた。

参加者からは、甲奴郡酪の組合員のもてなしに感謝の言葉が述べられ、「これからも牛乳『甲奴からの贈り物』をしっかりと飲みます」と伝えられ、消費者との年に一度の楽しい一日を終えた。

神石地域酪農生産振興協議会

10/23 神石高原町役場広場

さんわ ふるさとフェアに出店 消費拡大に手ごたえ

神石地域酪農生産振興協議会(河上康則会長)は地元の「さんわふるさとフェア」に出店し、牛乳や乳製品の販売と消費拡大を呼びかけた。

当日は雨天を心配されていたが何とか雨も降らず、多くの方がヨーグルトや手作りアイスを買い求められ、午前中で完売となった。

「ヨーグルトを買うために早く来た」、「アイスを食べたかったけど、もうないの?」とリピーターや来客者からの声に運営した会員らは手ごたえを感じていた。その他、会場では地元の特産品の販売や屋台、ゲームなどが催され、ステージでは地元小中学校による吹奏楽、地元文化連盟による神楽やカラオケ大会、豪華景品付きの縄跳大会やビンゴゲームなど数々の催しが披露され、来場者を楽しませていた。

